

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【公表番号】特表2009-517942(P2009-517942A)  
 【公表日】平成21年4月30日(2009.4.30)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-017  
 【出願番号】特願2008-542761(P2008-542761)  
 【国際特許分類】

H 0 4 L 27/36 (2006.01)

H 0 4 L 27/20 (2006.01)

H 0 3 C 3/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 27/00 F

H 0 4 L 27/20 Z

H 0 3 C 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月9日(2009.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

変調入力としての役目を果たすベースバンド情報信号各々に対するトランジスタ回路(28;40)を含み、前記トランジスタ回路夫々はミキサと相互コンダクタンスとを組合せた回路として機能する変調器であって、

前記ベースバンド情報信号により駆動され、変調器出力ノード(30;32)を対応する相互コンダクタンス素子に結合する第1のトランジスタと、

局部発振器信号により駆動され、前記対応する相互コンダクタンス素子を信号接地ノード(34;38)に結合する第2のトランジスタとを有し、

前記第1のトランジスタは前記ベースバンド情報信号によって駆動されることに応じて変調電流信号を生成し、前記第2のトランジスタは前記局部発振器信号によって駆動されることに応じて前記変調電流信号をアップコンバートすることを特徴とする変調器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

局部発振器が前記変調器に含まれるか、或は関係し、

前記局部発振器は、所望の周波数で、25%或は約25%のデューティサイクルで前記局部発振器信号を生成するよう構成されていることを特徴とする請求項6に記載の変調器

。